

職場は管理者だけのものではありません！

4月1日、突然、職場の掲示板に「ルールの徹底」なる掲示が張り出されました。

「大阪第二運輸所で徹底するルールを以下に記載しますので所員の皆さんはその主旨を理解しルールを守るよう・・・」との書き出しから、「ロッカーについて」「レターケースについて」「社員証、職務乗車証の管理について」「乗務カバンの置き場所について」「執務スペースの入室について」の5項目に渡って書き出しています。

特に今回、気になる内容は、「執務スペースの入室について」についての項目の中に「執務スペースに入室する際は、他の社員が業務中であることを配慮し、制服又はスーツ等社員として相応しい服装とする。」としているのです。

乗務員は、乗務が終了すると着替えてリラックスしたいのは当たり前であり、個人の服装は他人にとやかく言われることはありません。本部・本社間で開催された業務委員会でもスーツ姿の強要の問題について会社は「会社としてのルールはない」「(服装は)自由である」と回答しています。

そういった、本社としての見解を無視し職場単位でこのような「ルール」を勝手に決めて社員に押しつけようとするのは、職場の社員を全て自分の色に染めていいなりにしてしまおうとする行為は横暴ではないでしょうか。会社は「リニア」「JRゲートタワー」を何としても社員に文句を言わさずに成功させようと必至になっているようにも見えます。

**突然の「ルールの徹底」は、
社員・職場を自分の思うままにしたい証！**

このような「ルール」を掲示にして張り出すことは、乗務員は乗務が終わったら職場から出て行けということの意味するモノではないでしょうか。

かつて大阪第二運輸所には、詰所に「業務が終了したら速やかに職場から出るように」という立て看板が立てられていた職場です。一時はそれも撤去していましたが、再びそのような風通しが悪くなるような職場になるのはごめん被りたいものです。